

# 28年度学校評価について

12月末にご協力いただきましたアンケート結果をもとに、平成28年度の教育活動について自己評価を行いました。紙面の関係から、今回は年度当初に設定した重点目標に対しての評価結果を報告したいと思います。評価結果についてご意見・ご感想等がございましたら、ご連絡をいただきますようお願いいたします。なお、アンケート調査は、保護者、生徒、教員を対象に行っており、それぞれ関連する項目毎に比較しています。

	重点目標	具体的な指標 数値目標等	結 果	評価 A・B・C	課題・改善策
1	確かな学力を身につける	なるほど、わかったと実感をもつことができたと答える生徒86%	なるほど、わかったと実感をもつことができた生徒は約94%、2、3年生が1学期より向上した。	A	昨年よりも向上したが、個別の支援が必要な生徒への対応を検討したい。
2	生徒会活動、専門委員会活動をとおりて学校を活性化する	学級活動や生徒会活動で自分の役割を果たしたと答える生徒80%	係や委員会活動で自分の役割を果たしたと答えた生徒は約92%だった。	A	取り組みが不十分な生徒には、成功体験から意欲を持たせたい。
3	生活しやすい環境をつくっていく	学校がきれいになったと答える生徒80%	学校がきれいになったと答えた生徒は約75%で、特に2、3年生で数値が向上した。	B	清掃の取り組みはよくなった。日頃から教室等の環境整備に気づく目を育てたい。
4	どの子どもも楽しい修善寺中学校をつくる	修中にいじめがないと答える生徒70%	修中にいじめがないと答えた生徒は約62%だった。	B	いじりやふざけがいじめにつながることを認識させるとともに、道徳による心の耕しを行う。

(解説)

重点目標1について、授業をまじめに受けている生徒は多いですが、なるほど・わかったと実感をもつためには、友達の考えを聞いたり自分の考えを伝えたりすることで、より理解が深まると考えています。このような対話的・協働的な学習を進めることができるよう、教員も研修を重ねています。また、誰にもわかりやすい指示の出し方や板書の仕方についても研究しています。(授業のユニバーサルデザイン化)

一方、学習の定着を図ることが目的である家庭学習の定着・習慣化については、2、3年生で学習時間が増加していましたが、宿題が中心で授業の予習・復習にかける時間は少ないという結果が出ています。

重点目標3について、清掃の開始時刻が守れるよう清掃前の「黙想」を取り入れてみました。その結果、作業の分担や手順がはっきりしたり時間いっぱい取り組めたりといった成果が出てきています。

重点目標4について、年々数値は向上しています。しかし、約4割の生徒がいじめとともとれる行為(いじり・ふざけ・からかい等)に対して、嫌な気持ちをもっているということは事実です。日常の小さな表れを見逃さず、適切な指導ができるよう子どもたちに寄り添った指導を心がけていきます。また、生徒同士でも、問題を指摘しあえるような道徳的な価値観や実践力を育てていきたいと考えています。